



八雲小学校 学校だより

# 輝くひとみ



八雲小HP

R5.7.20 発行 文責：田中

## 1学期が終了 家庭・地域で安全に過ごす夏休みに

59名の1年生と14名の新しい先生方をお迎えし、全校児童388人でスタートした令和5年度の1学期が終わります。5月8日には「新型コロナウイルス感染症」が感染症第5類扱いになったことを受けて、学校生活にも色々な変化が表れてきました。感染予防の観点から制限されていたことが緩和され、マスクを外す場面が多くなったり、より緊密なかかわり合いができるようになったりしました。様々な活動が再開し、1学期の大きな行事である運動会においても、全校で取り組む応援合戦に挑戦することができました。そうした大きな変化があったこの1学期でしたが、子どもたちは学年が一つ進級したことをきっかけにして大きな成長を遂げてくれたように感じています。学校の中でも「こんにちは」というあいさつが交わされるようになったり、廊下を走る子どもが激減したりしたことも大きな変化の一つだと感じています。学校全体としては、少し落ち着いた感のある1学期を過ごすことができました。保護者・地域の皆様には、いつも温かく子どもたちを包み見守っていただき、本当にありがとうございました。

明日からは、夏休みに入ります。リフレッシュをするとともに、1学期を振り返り2学期以降への新たな夢や希望が抱けるような安全で素敵な夏休みになることを願っています。保護者・地域の皆様には、家庭・地域で過ごす子どもたちに対して、引き続きの指導や見守りをお願いいたします。8月28日(月)、2学期始業式の日には、元気いっぱいの笑顔で登校してくれることを願っています。

## 芝生の補植作業 2500ポット 参加して下さったすべての方々に感謝！！

6月25日(日)、前日から「ばば引き」をして下さったり、たくさんの機械や道具を持ち込んで作業して下さったりしていました。当日も、朝早くからお出かけいただき、機械を準備して下さったり、苗の補植に参加して下さったりした保護者・地域・児童・教職員の皆様、本当にお世話になりました。延べ人数120名を超える皆様のおかげで、2500株の芝苗を補植することができました。毎年大変な作業ですが、参加して下さる皆様方のおかげでとてもスムーズに作業を終えることができています。その後、補植をした部分にはロープを張って立入禁止にしており、今年も芝は順調に根を伸ばしています。



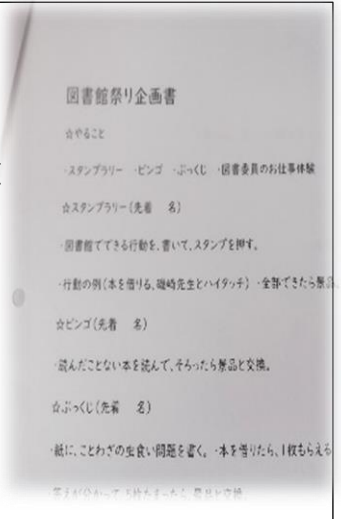
## たくさんの図書の寄贈をいただきました

この度、有限会社八雲石油代表取締役千原一條様、株式会社山陰合同銀行頭取山崎 徹様、2社からの私募債により、24セット43冊の(約10万円分)の図書を寄贈していただきました。新しい本は図書館入り口付近の新刊コーナーに置いてあり大人気です。たくさんの本に出会い、興味関心を広げたり、心を耕したり、学びを深めたりしてほしいと願っています。ご披露に合わせ厚くお礼申し上げます。



## 今月のキラリ！

☆ 図書委員会では、2学期に図書館祭りを計画しているそうです。先日、6年生の子どもが校長室へやってきて、「図書館祭りで使いたいものがあるので、買ってもらえますか。」と言ってきました。私が、「それじゃあ、企画書を作ってもってきてごらん。その企画の内容を見て判断します。」と返答すると、数日後には「企画書ができました！」と言って、ワープロで打った本格的な企画書とお願い文を持ってきました。なんと素晴らしいことでしょう。自分たちで企画して、予算まで考えて活動ができるということに驚きと感動を覚えました。子どもの力を信じて、チャレンジさせることの大切さに改めて気づかされた思いでした。早速、事務リーダーに話をし、必要物品の購入の方向で動いていただきました。子どもたちの可能性を信じ、力を伸ばす指導を行った担当教員にも大きな拍手と感謝の気持ちを伝えました。



## 地区懇談会お世話になりました

PTA 役員の皆様や地区部員の皆様のお世話によって、「地区懇談会」が再開され、それぞれの地域の自治会長様や民生児童委員、保護司の方、駐在様等を交えて情報共有をすることができました。その中では、特に、「あいさつ」「登校・下校」「交通安全」「地域での遊び方」「夏休みの地区行事」等についての話題や「地域の危険箇所」の情報共有なども行われました。保護者・地域の皆さんが、子どもたちの安全・安心を日々守ろうと活動してくださっていることや、成長を見守ってくださっていることが実感でき、とても有意義な会になりました。『子どもたちとのふれあいが楽しい！』『子どもたちから元気をもたらしている！』という地域の方からのお言葉もあり、地域全体で子どもたちを見守り育てていこうという八雲の人の温かさを感じることもできました。お忙しい中、ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



## 学園教育推進会議より

7月18日に小中合同の「学園教育推進会議」が開かれ、熱心な協議が行われました。その中で委員の皆様から次のような質問やご意見がありましたので、私の回答も合わせて紹介します。

- タブレットはどの程度使われているか。…タブレットドリルが入り、校内では活用しているが持ち帰りは現時点で6年のみ。夏休みには高学年児童は持ち帰りをする計画である。使用方法については課題がある。
- 中学生の学びの姿を見せることも大切ではないか。…高学年児童が中学校を見学する機会を考えたい。
- 不登校児童への対応について…学校内外において子どもたちの居場所づくりをめざしている。
- 児童の車での送迎について…登校班での集団登校を呼びかけているが、送迎をしてもらう児童が多いと感じる。理由は様々にあると思うが、児童の健やかな成長や安全確保の面からも考えていただきたい。

令和5年度の1学期、保護者・地域の皆様のご理解とご支援を受けて、たくさんの場面で子どもたちのかかわり合いや成長を感じることができました。

明日から38日間の夏休みになります。松江市内でも新型コロナウイルス感染症をはじめとする色々な感染症が流行しているようです。感染予防に心がけつつ、「今できること」「今しかできないこと」にチャレンジして欲しいと願っています。また、「当該学年までの学習内容の定着・確認」にもご協力いただきたく思っています。夏休みが子どもたちにとっても、ご家族の皆様にとっても安全で充実したものになりますよう、引き続き保護者・地域の皆様、よろしくお願いたします。

